

心と心をつなぐコミュニケーション

## チャット&トーク

僕らにとって、「誰かを知っている」とは、「知らない」ことなのです。なぜなら、機密情報を扱っている者にとっては、ちょっと面識がある程度ではまったく意味がない。互いに心を許しあっていないければ、貴重な情報・インテリジェンスを明かしてくれるはずがありません。「試練を経た友情のみが真の友情だ」。かつて北京で周恩来総理がこう話してくれました。文革の嵐をくぐり抜けた意志の人は、風雪に耐えた友情のみが揺るぎない絆になることを身をもって味わったのでしよう。ごく少数でいい、心を許した友を持って論じてくれました。先日、鎌倉・円覚寺の老師が「衆角維多「麟足」と書いてください。漫然と多くの人と付き合うより、一人の心の友がいればよいという教えなのでしようか。情報をめぐる環境は冷戦の終焉を機に様変わりしました。ITの時代が到来し、何かを知りたい時にはつい「検索サイト」をたたくてしまう。そこから提供される情報は、画一的なだけでなく、間違っていることさえある。単なる一般情報ではなく、選り抜かれた情報・インテリジェンスを相手にしているわれわれにとって、「検索サイト」に安易に



## 心を許した友から コミュニケーションは始まる

外交ジャーナリスト・作家

手嶋 龍一



頼るわけにはいきません。自分で調べたものでなければ、叙述のスタイルもどこかで制約されてしまい、本当に独創的なものは書けなくなってしまう。真に貴重な情報は、お手軽なサイバー空間からではなく、直に人と会ってやりとりする中でしか手に入りません。人との絆を通じて良質な情報を得るには、優れたプレゼンターである前に、一級の聞き手であるべきです。僕が知っているインテリジェンスの達人たちは、いずれも「人たらし」と言ってもいいほど聞き上手ですよ。(談)

てしま りゅういち©NHKワシントン支局長を務め、01年9月の同時多発テロ事件に際しては、11日間の昼夜連続の中継放送を担い、冷静的確な報告が視聴者の圧倒的な支持を得た。05年にNHKから独立後発表したインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』とその姉妹編に当たる『スギハラ・ダラー』は、総計で40万部を超えるベストセラーに。『外交敗戦』『たそがれゆく日米同盟〜ニッポンFSXを撃て』『インテリジェンスの賢者たち』(いずれも新潮文庫)もまたロングセラーとなっている。

Designing The Future

KDDI

このエッセイの感想をメールでお寄せください。著者にお届けします。 kddipr@kddi.com